

# まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎26550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

## 非常持出袋を背負って…

### 上野田地区防災訓練

10月21日(日)、上野田地区において防災訓練が実施され、212名の地域住民が参加されました。これは、避難行動を通じて地域住民の防災意識を高め、問題点を掘り起こすことを目的に行われたものです。

参加者は、事前に配付された「非常用持出袋」に、新聞紙、ビニール袋、雨具、コップ、タオルなどを詰め込んで、1次避難所から2次避難所である日野高等学校グラウンドへ集合。本部テントでは、各班の家族総数、行方不明者数が次々と報告されていました。

区長の中野農<sup>なかのしんご</sup>さんは、「これを機会に、より一層、隣近所の『地域力』を高めていきたい」と話されていました。



▲班ごとに家族総数、行方不明者数を本部へすみやかに報告されました

## 日野菜漬けにチャレンジ!

### 「原産 日野菜体験」開催

10月21日(日)、大字鎌掛にある「花の郷 日野ダリア園」において、原産の日野菜を収穫し、日野菜漬けを作る体験が行われ、20名が参加されました。参加者は、ダリア園内の畑で日野菜を収穫し、鎌掛公民館で日野菜漬けに挑戦。「食べたことはあるけれど、作るのは初めて」という方が多く、スタッフに調理手順を教わりながら和やかな雰囲気の中で作られました。

ほんのり桜色に染まった日野菜漬けは、一晩置おいて食べごろになるため、お土産として持って帰られました。



▶スタッフに教わりながら手際よく調理する参加者

## 秋晴れの下、にぎやかに開催

### 第7回わたむきの里まつり

今年で7回目を迎えた「わたむきの里まつり」が10月21日(日)、大字上野田にあるわたむきの里作業所において開催されました。

会場には、安くておいしい模擬店が立ち並び、特設ステージでは、キッズダンス、サマースクール有志の会による歌、大抽選会などが行われました。バザーコーナーでは、衣料、食器、家電、おもちゃなどの生活用品が所狭しと並べられ、掘り出し物がいっぱい。品物を詰め込んだ袋を両手にした人の長い行列ができていました。



▶屋台が立ち並ぶ会場



# まちのわだい

## おいしいね 環境こだわり米

別所の田んぼで青空交流会

10月21日(日)、大字別所において、こだわり滋養ネットワーク主催による生産者と消費者の交流会「命みつめる日野町別所ふれあいツアー」が開催されました。

県では、環境こだわり農産物を認証する制度を消費者に広く知ってもらおうとネットワークをつくり、現在1,700名の会員がいます。その会員を対象にツアーが企画され、大学生などを含む8名が参加。別所の田んぼで、地元の皆さんと、日野町イエス・ノークイズや環境こだわり米で作ったおにぎりの食べ比べなどを楽しく交流されました。



▶おにぎりを試食する大学生たち

※農薬をこれまでの半分の量で作られた農作物

## お客さんの接待と品物並べ

日野中学2年生の職場体験

10月29日から11月2日までの5日間、日野中学2年生の職場体験が61事業所で行われました。その中のローソン日野河原店では、3人の女子生徒が体験に行きました。

品物の一つひとつ並べたり、レジでお客さんに買ってもらった品物を袋に詰めたりしていました。「仕事で大変なことは何ですか?」と聞くと、答えは「全部です」と返ってくるほど忙しい様子でした。

お店の制服を着ていて、すっかり店員さんと間違えるほど立派に働いていました。最終日には素晴らしい店員さんに変身していることでしょう。



▶職業体験のコンビニ店でパンを並べている様子

## 住まいのチョット修理

建築組合日野地区が家屋修理

11月11日(日)、建築組合日野地区(代表・吉永喜義さん)による高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の家屋修理「住まいのチョット修理」が行われました。これは、日野町社会福祉協議会の協力により行われているボランティア活動で、地域の高齢者が、元気で安心して暮らせる住環境づくりに貢献しようとするものです。

この日は、朝から組合員19名が、8件のお宅のこの修理、建具の建て付け修繕、塀の改修などをされました。

修理してもらったお宅では、「ありがたいわあ」「助かるわ」と喜びの声が聞かれました。



▶建具の建て付け修繕作業の様子

▲この記事は日野中学2年吉澤健樹が書きました。